

奥越地域にオリーブ新産業を 創出可能な要素技術の開発

株式会社ヤマダ殖産

オリーブの木について勉強 してみましょう

問題です

右の写真のオリーブの樹齢何
年は何年でしょう？

A.10年

B.100年

C.1000年





正解は：C.1000年です

イタリアの国の形でブーツの踵の部分に位置する石の町プーリア週に有るオリーブの木は2,000年前の古代ローマ時代から続くオリーブ園で、世界の至宝（しほう）と呼ばれていて今なおオイルを生産し続けています

オリーブが実をつけるまでには木を
植えてから何年かかるでしょうか？

A.1年

B.3年

C.8年



オリーブの花言葉 葉は何でしょう？

A「平和」

B「知恵」

C「勝利」



オリーブの花言葉は？

「平和」「知恵」「勝利」
という花言葉を持つ植物なんです。

「平和」

「知恵」

「勝利」

それぞれについて、説明します



「平和」の由来について



ノアの箱舟の話は知っていますか？
今から4,800年前の事
旧約聖書のノアの箱舟の物語です。

墮落した生活に神は怒り、大洪水を起こすんですが、神をうやまうノアだけに、箱舟をつくって家族と地上のすべての生き物をつがいで乗せるよう指示して生物は難を逃れる話です。

大洪水の後、水が引いた事を確認するために鳩を離したところ、鳩がオリーブの枝を咥えて帰ってきた話から『鳩』と『オリーブ』は平和の象徴になりました。



「知恵」の由来について

- 「知恵」は、ギリシャ神話に由来します。
- ギリシャの神であるアテナとポセイドンは、ひとつの都市の支配権を争っていました。争いを知った全能の神ゼウスは、2人のうち、より人々にとって役に立つ贈り物をしたものに、都市を与えると伝えます。

ポセイドン＝「馬」戦の役に立つ

アテナ＝「オリーブ」果実が食事や薬の材料として人々を救うとして

人々はアテナの贈り物を支持し、アテナに都市の支配権が与えられた
お話

オリーブ＝『さまざまな用途に使える「知恵」の詰まった贈り物』

から知恵の象徴となりました





「勝利」の象徴としても使われます

アテナに与えられた都市＝現在のアテネ、オリンピックの発祥地なんです。

ルーツはアテナの祭でおこなわれた競技で、勝者に与えられていたことからです。そのため、オリーブの木を「勝利」の象徴として用います。オリンピックの勝者に、オリーブの冠が与えられるというのもここからきています。

①耕作放棄地復活

②散水監視

③土の団粒化

①耕作放棄地は、宝の山だった

（水田で作られた保水する層である耕盤層を雑草の根と雑草を醗酵させる菌のパワーで立派な圃場に！）

②効率的な散水の確立

③ブロフ理論による土の団粒化の実践。
菌ちゃん農法による炭素の補給と団粒化

耕作放棄地は、 宝の畑だった！

本からの引用です

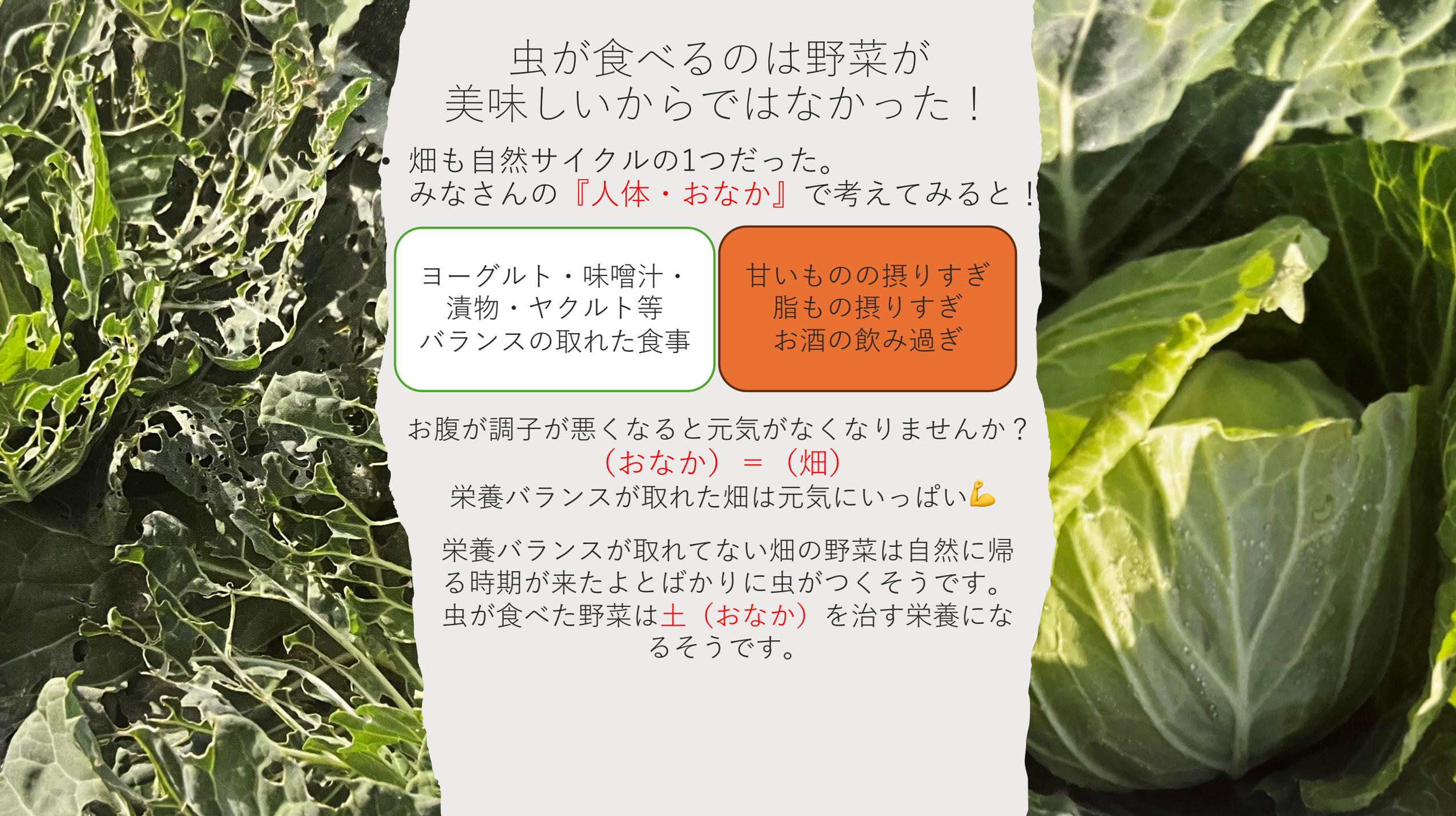
菌ちゃん農法の始まりは
偶然から始まった

『5年以上ほったらかしにされて、草はボウボウ。カヤヤカズラなどの強い「雑草」で覆いつくされ状態。

この状態で、ターサイを育てたら、これまでの畑は、虫（ヨトウムシ）の被害で穴だらけだったが、耕作放棄地は、虫の被害もなく、虫食いの無いきれいなものがとれたそうです。しかも、食べてみると、これが、えぐみがなく、なんともおいしい！喜んだ反面、これまでの努力はなんだったんだろうと思いました』
(要約)

と、書いてありました。
実は、ここには、自然が作り出す畑のサイクルがいっぱい隠れていたんですね。





虫が食べるのは野菜が 美味しいからではなかった！

- 畑も自然サイクルの1つだった。
みなさんの『**人体・おなか**』で考えてみると！

ヨーグルト・味噌汁・
漬物・ヤクルト等
バランスの取れた食事

甘いものの摂りすぎ
脂もの摂りすぎ
お酒の飲み過ぎ

お腹が調子が悪くなると元気がなくなりませんか？

(おなか) = (畑)

栄養バランスが取れた畑は元気にいっぱい💪

栄養バランスが取れてない畑の野菜は自然に帰
る時期が来たよとばかりに虫がつくそうです。
虫が食べた野菜は**土 (おなか)**を治す栄養にな
るそうです。

菌ちゃん先生の講習について

- 9月16日に上越で行われた講習会に行ってきた。
詳しい内容は
<https://sinyou358.com/?p=9659>
にて発信しています。
ご覧ください



菌ちゃん農法の実験

菌ちゃん農法の実験
好気細菌などの空気が据
える環境を作ります。

- ①畝を高く上げる
- ②糸状菌がついた木・
竹刈り取った雑草を入
れる
- ③マルチで覆う

太陽熱で活発に働いて
もらい畑を耕してもら
う



②自動散水装置の設置

- 自動散水タイマー設置
- ホース詰まりを監視するための点滴ホースを設置
- 水量は、約5分（鉢の容量）
- 散水は、朝・夕の2回（7月～9月）

設置場所：九頭竜ワークショップ



ブロフ理論で何をしたいか？

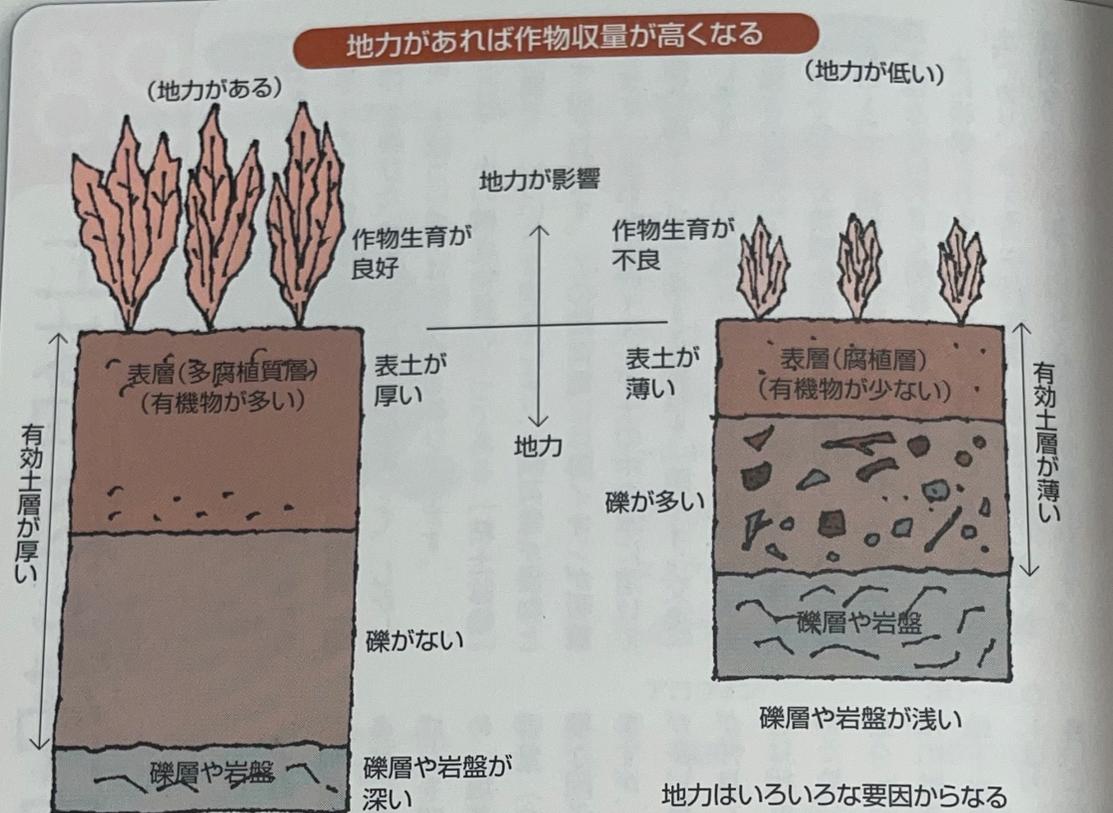
④有機物と似た部分があり、通気性や透水性に関係する。農作物にとっては団粒構造が良い状態。

⑧土の中の養分を吸収しやすくしたり、農作物の生育を促進したりする微生物が多いと良い。病原微生物が少ないことも必要。
このような土づくりをしたいと思います。

とことん優しい土壌の本より引用

水田土壌と畑土壌の違い

	水田	畑
地質	大部分が沖積土	火山灰土、残積土
地形	低地	台地、傾斜地
連作障害	なし	あり
灌漑水による養分の供給	あり	なし
窒素の有効化	大	小
リン酸の有効化	大	小
酸素	わずか、あるいはなし	多い
酸化還元電位	低い	高い
pH	高い	低い
土壌構造	単粒	団粒
還元による有害物	多い	少ない



肥沃度に関する主な要因と良い状態(例)

要因の項目	その要因がどのような状態が良いか
①有効土層の深さ	根が伸びられる範囲がどれだけ深いかということ。深いほど良い。
②表土の深さ	施用した肥料が混ざる部分で、軟らかく空気も十分に含んでいる。これも深いほど良い。
③土性	土はいろいろの大きさの粒からなるが、粗い砂だけでも、細かい粘土だけでも良くない。両者が適度に混ざっていることが必要。
④土壌有機物の量	有機物が多いほど軟らかく、保水力や通気性、保肥力などが高く農作物には適した状態になる。
⑤土の構造	有機物と似た部分があり、通気性や透水性に関係する。農作物にとっては団粒構造が良い状態。
⑥土壌pH	多くの農作物は、6.0~6.8程度の範囲内がもっとも育つ。いくつかの植物はこれよりも酸性もしくは塩基性の土壌pHを好むものもある。

ブロフ理論により根が成長し易い土づくりへの取り組み

酵母菌

- ①糖分
- ②ドライイースト
- ③ **30°C**のぬるま湯で培養
- ④**12時間24時間**

狭い範囲なら

5gのイースト菌を**200cc**のぬるま湯で溶かしてまいてもいいそうです。

納豆菌の培養（団粒化だけではなく・病気の抑制にも使えます）

- ①糖分
- ②豆乳
- ③酸素（好気性細菌のため）を混ぜ**40度**の温度で培養をします。
- ④**24～48時間**

出来た液を**20～100倍**に薄めて散布します

培養することで、大量に巻くことができます。





ブロフ理論スタート



同時にクローバーによる
雑草の抑制もスタート



酵母菌が活発に働き
phが下がってくる



雑草の丈が伸びて
クローバーが見え
なくなる

半年間の畑づくりについて

<https://sinyou358.com/?p=9592>

ブロフ理論のまとめのページ

マルチの中は雑草は枯れる



ブロフ理論の実践後（他とは違う草が生えてくる）



取り木の実験

昨年の失敗の経験を活かし

①もう一度、皮を張らせないように、皮の下の形成層をしっかりと削った。

②保湿のイメージでアロエを挟んでみました





今後の取り組み

①真空蒸留エキス抽出法の実験

(株式会社アンシェルブ<https://unshelve.jp/company>)

②地下水の水位モニタリング装置の開発

(グラスITフィールドさんへ依頼)

③乗用草刈機による緑肥の生産

- 高草刈り (背丈の低い草の圃場づくり)
- 作業能率の確認
- 乗用草刈機の作業効率が良い圃場設計

ご清聴ありがとうございました🙏



今回の発表の内容をここにUPしておきます